

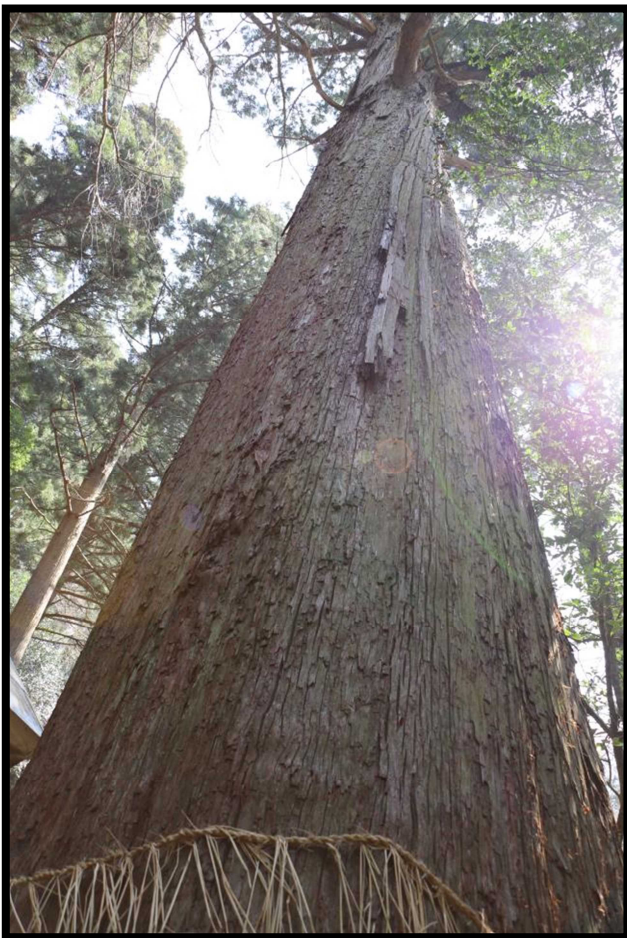
## 南丹の景観ちょっと情報



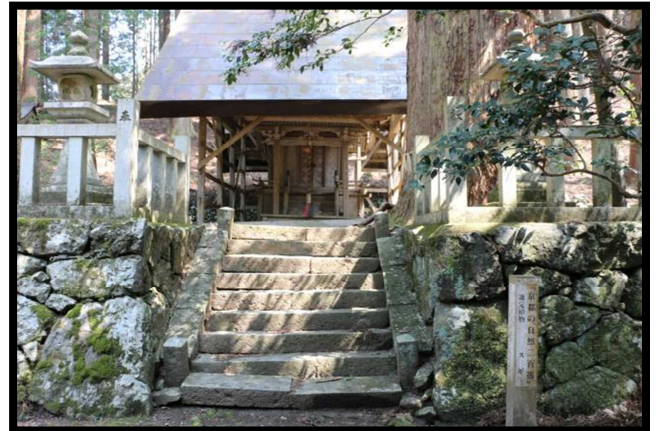
### 【日吉町 木住区 <sup>ふえふき</sup> 笛吹神社】

府道 19 号園部平屋線をスプリングスひよしから美山町方面へ進むと、700mほどで笛吹神社が見えます。この神社にはご神木とされる杉の巨木があり、幹周 6.39m・樹高約 45mで、日吉町最大とされており、府道から神社を眺めた際も確認できます。

笛吹神社は、聖徳太子の時代に建てられたといわれる太秦の広隆寺建設に、この地の樹木が使われたことへの返礼として、社を設けたのが始まりと伝えられており、神社の歴史やご神木の樹齢を物語っています。



笛吹神社の大杉



境内の眺望



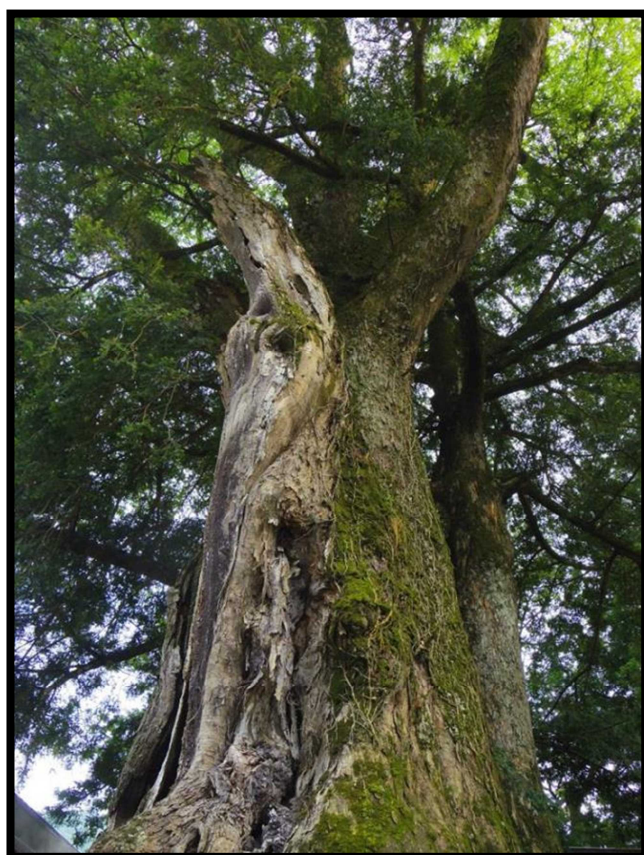
府道から見た笛吹神社

## 南丹の景観ちょっと情報

### 【園部町天引区 椋<sup>むく</sup>の巨木と薬師堂】

天引区は、南丹市の西端に位置しており、兵庫県篠山市と隣接しています。この地域では、2012年から「天引区の活性化と未来を考える会」を発足され、地域の活力を取り戻すことを目的に、「あまびき再発見マップ」の作成、「ほたるコンサート」の開催、「松明上げ」の復活や、地元産品を販売する「むくむく市」の運営など、地域活性化の非常に多彩な活動を実施されています。

天引の見所をまとめた「天引10撰」には、かつての山陰道だった旧道、千体地蔵、中イネの石組水路など、多くの天引区の魅力が紹介されており、どれもが良好な景観を形成しています。今回はその中でも、天引区の「かやぶき屋根の薬師堂」と、「天引八幡神社の椋の巨木」をご紹介します。



天引八幡神社の椋の巨木



かやぶき屋根の薬師堂

#### 《天引八幡神社の椋の巨木》

天引区にある八幡神社の境内は、杉（スギ）、栢木（カヤノキ）、樺（ケヤキ）などの巨木が多く育っており、特に椋（ムク）の樹は、全国でも屈指の巨木です。

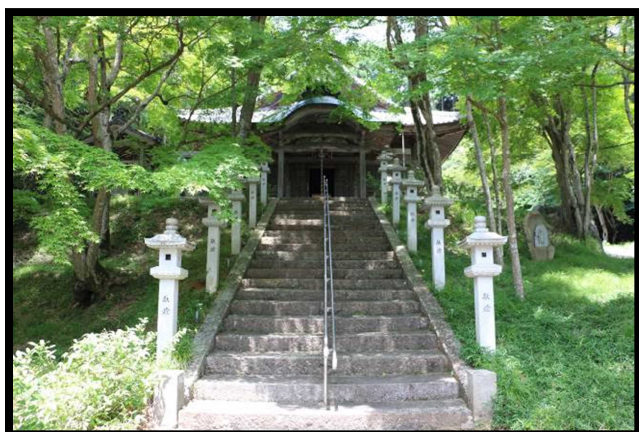
#### 《かやぶき屋根の薬師堂》

薬師堂は、水田に囲まれて出島のように建てられており、近くの国道を通りかかる人たちも立ち寄る人気の写真スポットです。水田に水を張る時期には、薬師堂が逆さに映る「水鏡」が出現し、ライトアップも行われます。

## 南丹の景観ちょっと情報

【八木町美里区 <sup>さいこうじ</sup>西光寺】

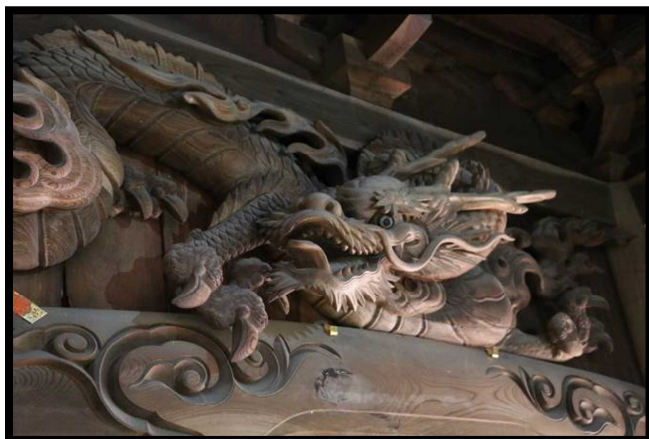
八木町吉富駅からメグミルク工場方面へ進み、左の小路へ入ると西光寺に到着します。西光寺は、源頼朝にも強い影響を与えたと伝えられる文覚上人が、得度（僧侶になる儀式）をされたお寺でもあります。文覚上人は、京都高雄の神護寺にもゆかりがあり、境内には神護寺より移植された紅葉の樹が多数植えられています。西光寺の境内は、春には桜が咲き誇り、秋には紅葉が見事に色づく名所となっており、例年多くの人を訪れます。



階段下から本堂を望む



本堂を囲む木々、仏像



本堂内の龍の彫刻

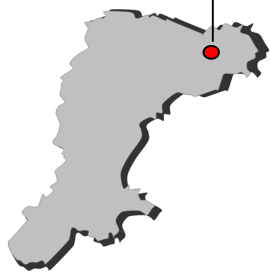
《八木町西光寺》

西光寺の境内には小川が流れていますが、昔、弘法大師が水不足に苦しむこの地域のために祈禱を行い、たちまちに湧き出た水によりできたと伝えられており、歴代の住職は境内の水の景観を大切にしてきました。秋には小川の水をたたえる池に紅葉が映え、美しい景観を形成します。

頑丈なケヤキの木で作られた本堂の中には、一対の龍をはじめとする見事な彫刻があります。これは丹波の名彫物師と呼ばれた中なか井い 権次一統の5代目が制作したもので、力強く、いまにも動き出しそうな躍動感に満ちています。

## 南丹の景観ちょっと情報

美山町 佐々里区



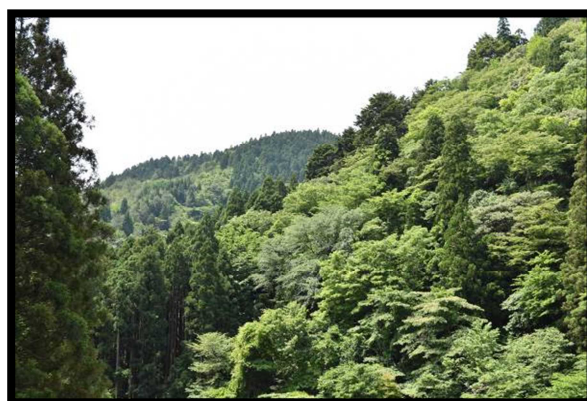
### 【美山町佐々里区】

美山町の東側に位置する佐々里区には、「布滝」と呼ばれる美しい滝があります。この滝はまるで白い反物（布）を垂らしたように同じ幅で流れていることから、そう呼ばれています。

また、佐々里区には「八つ頭の大鹿伝説」という昔話が残されています。この地域には大鹿退治に関連するスポットが残されており、住民の手により伝説ゆかりのスポットを巡るガイドマップが作成され、ハイキングコースとしても紹介されています。

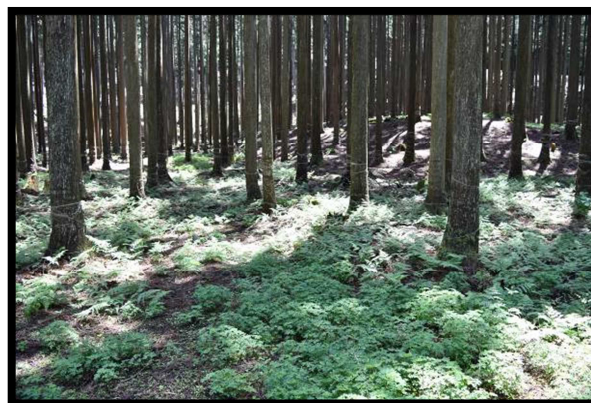


布滝



※大鹿退治の際、最初に鹿を発見した場所とされている。

おみに  
御見谷



※大鹿退治に携わった武士達は、ここで大鹿を食し、労をねぎらったとされている。

かまはら  
釜が原

## 南丹の景観ちょっと情報

八木町神吉 紅葉峠



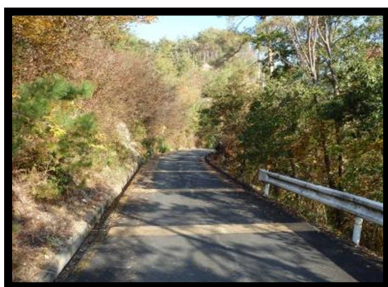
### 【八木町神吉地域 <sup>もみじ</sup> 紅葉峠の雲海】

南丹市八木町に位置する神吉地域は、標高約 360mの高台に位置しています。

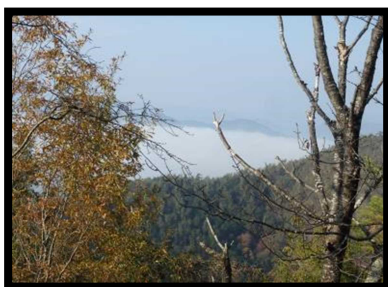
神吉地域から、旧道を 3km進むと、紅葉峠展望台に到着します。そこからは、南丹市八木町・亀岡市域を一望でき、季節によっては眼下に雲海をみることができ、美しい眺望を望めます。



バス停「神吉上」から紅葉峠へ続く道



紅葉峠の道中



道中から望む眺望



## ～紅葉峠展望台の眺望～

★紅葉峠展望台へは、路線バスが便利です★

【路線バス：京阪京都交通 神吉線、原・神吉線】

八木駅前（7：19発）⇒ 神吉上（7：39着）

バス停「神吉上」から絶景紅葉峠を通過して、バス停「東所」までハイキング  
※舗装された山道を下るコースです。（本頁左側参照、約5.7km）

東所（10：05発）⇒ 八木駅前（10：17着）

## 南丹の景観ちょっと情報



「日吉町天若 天若湖、世木（せき）ダム、新庄発電所」

スプリングス日吉から府道 50 号線を神吉方面に向かい 10 分程で左に世木ダムが見えてきます。世木ダムは昭和 26 年 12 月に作られました。現在大部分は水没しゲートは取り外されていますが、現役の発電用ダムとして稼働しています。取水された水は水路トンネルで下流にある八木の新庄発電所に送られ発電されており、故障も少ないようで現在も稼働しています。世木ダムの景観に加え、今も頑張っている新庄発電所も訪れてみてください。

また、天若湖では世木ダムの他、右岸と左岸をつなげる「夢の懸け橋」や、湖面に沈む夕日などの美しい景観を見ることができます。



前方から望む世木ダム



新庄発電所



世木ダム（後方）と天若湖



夕暮れの天若湖